

素案に対する主な御意見と県の対応等

資料2-2

No	主な該当ページ	御意見の要旨		県の対応・考え方
		区分	内容	
1	63, 47	農政審議会【小幡委員】	遊休農地の調査にドローンが活用可。遠隔操作の類では、山間地域のポンプの開閉作業の効率化など、手頃なところから推進が必要。ドローン技術は小学校と連携した教育の可能性もあるのではないかと。	スマート農業技術については実証から導入まで位置付けており、地域の実情等に併せて推進いたします。また、教育機関と連携した取組も位置付けておりますので、御意見も踏まえ進めてまいります。
2	51, 81	農政審議会【川上委員】	計画等については情報発信をお願いしたい。	計画については、県民への共有に努めるとともに、農業・農村への理解醸成等を計画に位置付けておりますので、各種媒体等を用いて情報を発信してまいります。
3	80	農政審議会【國武委員】	持続性の高い農業を目指す県農政の計画としては、カーボンニュートラルというキーワードが必要ではないかと。	御意見を踏まえ、第3編基本計画第2章3(2)⑥内の現状と施策の方向性において記載し、必要な取組を進めてまいります。
4	49, 83	農政審議会【栗原委員】	キュウリの平均反収の増により労力不足となるため、収穫作業の省力化は力を入れていただきたい。	御意見のとおり収量増加に伴う作業量の増加は課題として認識しておりますので、第2編重点プロジェクト3(2)などの表現を修正するとともに、取組を進めてまいります。
5	47, 57, 58, 61	農政審議会【佐師委員】	就農団地、リース方式による就農までは良い。一方で、新規就農時から規模拡大を考慮しておく必要があり、そのサポート体制が必要で、その点では承継が良い。	就農前から就農後、経営安定・発展に向けた取組を位置付け、その中で事業承継についても進めることとしております。
6	49, 64	農政審議会【戸切委員】	米について、経営体あたりの規模は拡大していく方向だが、このままではキャパオーバー。農地の集約・集積を進めていただきたい。	畦畔除去などの簡易基盤整備等による迅速な区画拡大の取組を位置付けておりますので、御意見も踏まえ進めてまいります。
7	70		新品種の作付面積について、新品種ができることは有りがたいが、価格がついてこないと難しい、新ブランドとセットでブランディングをお願いしたい。	ブランド等による付加価値向上の取組を位置付けておりますので、御意見も参考に各品目別にブランディング等を進めてまいります。
8	47, 62		新規自営就農者は厳しいのではないかと。雇用就農の目標等があっても良いのではないかと。	「農業法人における雇用者数」の指標の中で雇用就農者数も把握することとしております。
9	86	農政審議会【中邨委員】	各産地に果樹の3年生の大苗育苗の体制（試験場職員の指導、農業高校・大学生等のカリキュラム編入）を構築いただきたい。	計画に記載の内容は、マンゴーを念頭にデータを活用しながら計画的な改植を推進するものですが、御意見については、関連事業との棲み分けを含め研究いたします。

10	28		地域計画について、農水省はブラッシュアップという言葉を使っているため、用いることを検討してほしい。	御意見を踏まえ、第1編長期ビジョン第4章2内の今後の取組の必要性に係る内容に追記いたしました。
11	51	農政審議会【福井委員】	鳥獣害の新技术の記載があるが、高齢化が進む中、地域では手に負えない状況。具体的な対策が必要。	御意見を踏まえ、第2編重点プロジェクト3(3)の構成を変更するとともに、鳥獣害に関する取組を別立てで新設してICTを活用した省力的対策について記載し、取組を進めてまいります。
12			家族農業で生活ができ、集落が存続できなければ宮崎の自然や文化が壊れるので、検討いただき、大きな柱を作っていただきたい。	
13			サポートとして、日之影アグリファームの取組（行政主体で、多様な事業活用等を含め）を県内に展開していく必要。	
14	46		1,000万円の経営体の割合の目標について、分母が減ることで達成された、ということがないようにしていただきたい。	目標は年齢構成等も含めて把握し設定しておりますので、御意見も踏まえ進めてまいります。
15	47, 57	農政審議会【藤木委員】	多様な高校において農業関連の教育の取組ができると良い。新規就農者数の裏にある離農率の要因を把握し、就農した方を離さないように、改善していく必要。	教育機関と連携した取組や、就農後の定着・早期経営の安定に向けた取組を位置付けており、御意見を踏まえ進めてまいります。
16	112		経営展開のイメージは、640万円が何年後に達成できるのか、結婚の有無なども具体的に記載できると良い。	640万円所得は就農後5～10年後の目標と想定していますが、目標は地域や就農形態で異なるため、御意見については個別の就農計画等において対応いたします。
17	80		カーボンニュートラルにどう向き合うか。植樹活動で金属販売により資金を確保する取組がある。農業でも不要資材等の売買で同様の取組などができると良い。	第3編基本計画第2章3(2)⑥内の現状と施策の方向性においてカーボンニュートラルを記載することで修正し、御意見を踏まえ進めてまいります。
18	72	農政審議会【吉間委員】	輸出額について、宮崎県としての目標・戦略は適当か。	各品目において目標・戦略を設定しており、目標額はその積み上げで設定しております。
19	70, 81	農政審議会【吉元委員】	消費者の理解醸成としてSNS等での発信とあるが、消費者側の意見を受けとめる場はあるのか。双方向のやりとり、消費者の感謝の想いが生産者に伝わる仕組みがあると良い。	デジタルプロモーションにおける双方向のやりとりを含めた情報発信を計画に位置付けており、御意見も参考に進めてまいります。

20	47	パブコメ	人材確保に向けて、初期投資を抑えるため、リース方式の就農団地整備は良い。今後、空きハウスも増えていく中でハウスを移設し団地化も可能。規模拡大や就農団地整備の補助も検討いただきたい。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(1)や第3編基本計画第2章1(1)に記載のとおり、リース方式による就農団地の整備や、地域内での空きハウスの有効活用などについて支援し、人材を確保してまいります。
21	47	パブコメ	品目毎の就農トレーニング体制は良い。人を呼び込むこともだが、農業に定着させることも重要。特に南那珂地域は担い手が不足、外国人の就農にも支援があるとうれしい。農業で必要な資格取得支援があると業務の幅が広がり、定着もしやすい。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(1)や第3編基本計画第2章1(1)(2)に記載のとおり、就農前の相談から就農後の経営安定・発展までの支援を強化するとともに、外国人材を含めた各資格取得等の支援の充実を図ってまいります。
22	49	パブコメ	スマート農業技術の活用には農地の集積・集約化が必要であるが、全く進んでいない。現況と将来の意向を再度調査し、地域の中核となる大規模農家や農業法人等に情報を共有、集積・集約化していく必要。併せて、耕作可能面積が広い圃場等を優先的に導入を斡旋する必要。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(2)や第3編基本計画第2章2(1)②に記載のとおり、スマート農業技術を十分に活用できるよう、地域計画を踏まえた迅速な区画拡大や農地中間管理機構等の関係機関と連携して農地の集積・集約化に取り組んでまいります。
23	49	パブコメ	スマート農業技術の導入には、導入後のデメリット、例えばドローン防除における抵抗性なども評価する必要。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(2)や第3編基本計画第2章3(2)④に記載のとおり、スマート農業技術の導入にあわせて、防疫の観点での技術の開発・実証・普及にも取り組んでまいります。

24	49	パブコメ	スマート化に伴う基礎的な知識、例えばハウス内でのネット回線の導入なども現場で教えてほしい。また、その導入に対する補助を出してほしい。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(2)や第3編基本計画第2章2(1)①に記載のとおり、スマート農業技術を使いこなす人材の育成に向けて取り組んでまいります。
25	69	パブコメ	パレット輸送は、特に青果物においては産地側がコストを負担しており、進みづらい。計画においてパレット輸送をすることが目的になっているので、パレット輸送することで得られる効果を目標に設定したほうが良いと思う(例:作業時間の短縮 ○○時間等)	御意見を踏まえつつ、第3編基本計画第2章2(2)①に記載のとおり、荷物管理のDXや省力機器導入と合わせて荷役改善の事例創出に取り組んでまいります。
26	51	パブコメ	様々なコストが上昇しており、産地努力では厳しいため、価格転嫁の取組、取引先・消費者への啓蒙等を強化してほしい。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(3)や第3編基本計画第2章3(2)⑦に記載のとおり、農産物の価格形成に対する消費者への理解醸成に国とも連携しながら取り組んでまいります。
27	80	パブコメ	職業柄、食べる物の安全性には気を付けている。有機農産物の生産拡大と合わせて、県内でも購入しやすくしてほしい。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(3)や第3編基本計画第2章3(2)⑥に記載のとおり、環境に優しい農業の展開として有機農業の生産拡大や販路拡大等に取り組んでまいります。
28	47	パブコメ	今後は承継が大事だと思う。地域の中で、辞める人のハウスをまとめながら、規模拡大の人や新規就農の人に引き継いでいけると良いと思う。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(1)や第3編基本計画第2章1(1)に記載のとおり、地域内での空きハウスの有効活用などについて支援し、人材確保や規模拡大に取り組んでまいります。
29	49	パブコメ	スマート農業はハウスではだいぶ進んできていると思う。露路関係では、農地をまとめることを進めてから、導入していくべきと思う。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(2)や第3編基本計画2(1)②に記載のとおり、スマート農業技術を十分に活用できるよう、地域計画を踏まえた迅速な区画拡大や農地の集積・集約化に取り組んでまいります。
30	64	パブコメ	地域計画はこれから農地の集約や大区画化などで非常に重要だが、具体的に将来を見越した計画を策定した地域は少ないと聞く。これからどのように地域計画を進めていくのか。	第2編重点プロジェクト(2)や第3編基本計画第2章2(1)②に記載のとおり、地域農業の将来等に関する合意形成を支援しながら、計画の実現に向けた農地の集積・集約化に取り組んでまいります。
31	57, 83	パブコメ	スマート技術の活用での生産量の増は分かるが、施設が老朽化する中、建設費用は高騰し投資に踏み切れない。長寿命化も必要だが、限度がある。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(1)や第3編基本計画第2章1(1)、第3章2に記載のとおり、ハウスの長寿命化に加え、空きハウスの承継や低コストハウスの普及など、基盤の維持・拡大に取り組んでまいります。
32	51	パブコメ	農畜産物の合理的な費用を考慮した価格形成などに対する理解が非常に重要。単なる広報活動だけに留まらず、実効性のある取り組みはあるのか。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(3)や第3編基本計画第2章3(2)⑦に記載のとおり、農産物の価格形成に対する消費者への理解醸成に国とも連携しながら取り組んでまいります。
33	51	パブコメ	中山間地域では少子高齢化、過疎化、担い手・後継者不足が深刻化。儲かるのに離農する、後継者を作らない。集落協定の広域化、スマート農業推進が、いつまで持続に繋がるのか。一方で、後継者がいる小規模兼業農家もいるため、営農継続の手厚い支援をお願いしたい。	御意見を踏まえ、第2編重点プロジェクト(3)の構成を修正するとともに、第3編基本計画第2章3(1)①②にも記載のとおり、集落機能の維持・強化や中山間地域の所得向上などに向け、省力化や労働力の確保、新たな支援体制づくり等に取り組んでまいります。
34	49	パブコメ	中山間地では、小区画、変形、湿田等の条件不利地が多い。また、地主も多く区画整理も困難。国、県が母体となる組織が土地を買い上げ区画整理後に貸し出す、またはオーナー制度による都会の人々を巻き込んだ環境維持などができないか。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(2)や第3編基本計画第2章2(1)②に記載のとおり、地域計画を踏まえた地域農業の将来等に関する合意形成を支援しながら、農地中間管理機構等の関係機関と連携して農地の集積・集約化に取り組んでまいります。
35	47	パブコメ	現在、農業法人に勤務しており、この春就農予定。就農にあたり私は手厚い支援をもらえているが、手薄な地域もあると聞く。就農時の支援を各機関が連携して実施する体制が必要。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(1)や第3編基本計画第2章1(1)に記載のとおり、県及び関係機関が一体となって、研修から就農後の技術や経営面での支援体制を強化し、就農前から就農後の経営安定までの切れ目ない支援に取り組んでまいります。
36	49	パブコメ	露地野菜で就農予定で、畑かんを活用予定。散水器具を購入したいが、初期投資額を抑えたいため、新規就農の場合は導入が難しい。畑かんの工事地区では、高い補助があると聞いているが、既に畑かんがある農地で就農する場合は補助が受けられないと聞いているので、就農時の支援が欲しい。	御意見を踏まえ、第2編重点プロジェクト(2)や第3編基本計画第2章2(1)②に記載のとおり、計画的な営農ができるよう、市町村等の関係機関と一体となって畑かんがい施設の整備と併せて散水器具の導入促進に取り組んでまいります。

37	82	パブコメ	お米の値段が少し高いと感じる。本県では、県民が食べる分のお米を生産できないのか。生産できているのであれば、農家の所得・やる気にも配慮しつつ、県民向けに、今よりも安く提供することはできないのか。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(2)や第3編基本計画第3章1に記載のとおり、県民をはじめ消費者への米の安定供給に向け、主食用米と加工用米や飼料用米等のバランスのとれた米づくりを推進するとともに、水田の受け皿となる経営体の規模拡大やスマート農業技術の導入等による生産性向上などに取り組んでまいります。
38	47	パブコメ	地域のリーダー的な人材の育成、農業体験等を通じた農業・自然の魅力等への理解醸成、農村の景観を含めた維持、地域の人々との協力が必要。また、行政やJAが連携して農業者と、地域の方々をつなぐ体制を早急に構築して欲しい。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(1)(3)や第3編基本計画第2章3(1)にも記載のとおり、地域の中核的人材の育成、省力化や高収益化に向けた産地づくりをはじめ、多様な産業との連携や農村維持に向けた支援体制づくり、農村地域の資源を活用した関係人口の構築等に取り組んでまいります。
39	49	パブコメ	農業生産人口を維持、拡大するためには、スマート化等により、収益性の高い生産構造を確立することが必須であり、急務。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(2)や第3編基本計画第2章2(1)①②に記載のとおり、スマート農業技術を十分に活用できるよう、技術の推進はもとより、地域計画を踏まえた迅速な区画拡大等の基盤整備や農地の集積・集約化に取り組んでまいります。
40	49	パブコメ	畜産(特に繁殖)農家の研修については、多頭農家と比べ、小頭農家の方が牛の観察、給餌等に注力できるので妥当考える。また、選定規準には受精からの移植成功率や、牧草の栽培能力などを、複数を設定するのが妥当だと考える。	御意見を踏まえつつ、研修の内容や対象者等の設定に取り組んでまいります。
41	47, 59, 89	パブコメ	畜産に携わる女性の活躍を後押しするため、また日頃、牛の世話や観察を主に行う女性の技術向上のため、女性を対象とした研修会を実施してほしい。研修会を通して女性同士の繋がりを作ることややる気の向上や地域活性化までも担うと考える。	御意見を踏まえつつ、第2編重点プロジェクト(2)や第3編基本計画第2章1(1)③、第3章8などに記載のとおり、畜産の生産性向上に向けた営農指導を展開するとともに、女性農業者のネットワークづくり等に引き続き取り組んでまいります。
42	89	パブコメ	肉用子牛の出荷率については目標数値が記載されていますが、まずは母牛頭数の維持・確保が最優先だと思いますので、母牛頭数の目標数値も記載すべきではないでしょうか。	御意見のとおり、肉用子牛出荷の基礎となる、母牛頭数の維持・確保が最優先と認識しており、後期計画の中で肉用牛生産基盤の維持・構築に取り組むこととしております。目標数値としましては、後期計画で取り組む「生産性向上の取組」による出荷頭数が増加するという成果も含めた目標設定としております。
43	47	関係団体	プロジェクト指標の「測定の目的」の「新たな産地による承継体制」は表現を修正してはどうか。	御意見を踏まえ「産地による新たな承継体制」と表現を修正し、意図を明確にいたします。
44	59	関係団体	「高齢農業者が生涯現役で活躍できる仕組づくり」の記載バランスを減らす方向で見直してはどうか。	高齢農業者における施策の3つ目は新規就農者に向けた取組でもあるので、御理解をお願いいたします。
45	61	関係団体	事業承継支援の充実・強化の表現を図内の記載と整合させる必要があるのではないかと。	御意見を踏まえ「マッチングから契約締結まで」と表現を修正し、整合を図り明確にいたします。
46	64	関係団体	地域計画の実現に向けた農地の集積・集約化の加速について、具体策の記載が必要ではないかと。	第3編基本計画第2章2(1)②に記載のとおり、ほ場整備や畦畔除去等の簡易基盤整備の取組により農地の集積・集約化を進めてまいります。
47	82	関係団体	米における担い手確保に向けた取組を追加してはどうか(他の主品目(露地野菜、花き、果樹)、肉用牛では記載あり)。	御意見を踏まえ、地域の担い手確保として、地域水田農業の受け皿となっている経営体へのオペレーター育成や事業承継の支援を追記いたします。
48	5	議会	主要指標に経営耕地面積が掲げられているが、農村集落を支える方々などを含めた耕地面積の方が適当ではないかと。	御意見を踏まえ、耕地面積を指標として用いることで修正いたします。
49	95	議会	家族経営体や法人経営体などが協力して、長期的に地域の農業を守っていくという機運が重要であることから、計画を策定するにあたっては、将来像やメッセージ性を明確にしていきたい。	御意見を踏まえ、第3編基本計画第4章に掲載の地域別の具体的な展開方向において、地域別の目指す将来像や重点的な施策を明確にする地域プランを新たに策定し、その実現に向けて取り組んでまいります。